



### 第1回みちのくEMS認証登録者 連絡協議会設立総会(懇親会)を開催

みちのくEMS認証取得事業者の相互による情報共有の機会が今まで無かったことから、情報交流・ビジネスマッチングを目的とした標記連絡協議会を設立し、その記念すべき設立総会を平成20年5月13日に開催しました。

- 1.日時：平成20年5月13日(火)  
16:30~18:00【総会】  
18:00~20:00【懇親会】
- 2.場所：総会：宮城県庁行政庁舎12階  
1204会議室  
懇親会：KKRホテル仙台2階「吾妻」
- 3.内容：
  - 講演I「環境配慮型経営支援貸付制度」について  
商工組合中央金庫仙台支店  
営業第1課 課長 柴田 茂夫 氏
  - 講演II「わが社のグリーン調達」について  
東北リコー株式会社  
経営管理本部環境統括室室長 横倉 勉 氏
  - 総会設立趣旨説明
  - 懇親会



「環境配慮型経営支援貸付制度」について  
商工組合中央金庫仙台支店  
営業第1課 課長 柴田 茂夫 氏



「わが社のグリーン調達」について  
東北リコー株式会社  
経営管理本部環境統括室  
室長 横倉 勉 氏



お互いの垣根を越えた素晴らしい交流の場となり、今後の活動に期待が集まりました。今後も年に2回程度、認証登録事業者の連絡協議会(懇親会)が開催されます。ご期待ください。



きわめて緩やかなグリーン購入法は、古紙偽装問題がクローズアップされ、にぎやかな平成20年の幕あけとなった。問題は環境に本当に良いのかどうか検証されないままに、業者のみが悪者でおしまいになっているかに見える。これを機会にお互いに情報を交換して正しいことを伝えることが重要と考えられる。

何事においても情報が氾濫している。正しいことを正しく伝えキャッチできる、見る目も必要だ。

「もったいない」「モノを大切に」を貫き、全自動洗濯機を20年以上使用している。言葉に出して自慢こそしないが自分なりに20年も毎日良く働いてくれている洗濯機だ、と時には磨いてやる。

しかしあるところで大真面目に社長さんが「洗濯機を新しいのに変えたら水道・電気の料金が大幅に下がったよ」「えっ、なぜ?」「省エネタイプのだから」との答え「ふーん。でもモノを大切にすると20年も使ってあげれば立派なモノでしょう」「しかしね。省エネの技術はすごいよ、水・電気・洗剤すべて経済的だよ、3年も使ったら、元は取れるよ。しかも環境にもいいし。」と断言する。男性でも実践している社長さんに感心。確かに日進月歩技術は向上している。20年前とでは雲泥の差である。

確かな技術、正しい情報の発信、受け手側の勉強そして正しくキャッチ。この応酬がよき方向に導くことなのだ確信する。文化財や伝統工芸品などは守り続け大切にすべきであろう。しかし電化製品などは適宜見直しをしていくことも肝要だ。

これを契機に会員の商品情報やお得な経験などの情報をお寄せいただきたい。みやぎグリーン購入ネットワークはよき情報の発信基地として、会員の皆様に伝えていきたいと考えているところです。

#### 新入会員2社をご紹介します。(敬省略)

- 笹氣出版印刷(株)
- 日東インダ(株)

#### 発行・編集 NPO法人 環境会議所東北

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈三丁目10-6  
TEL.022-218-0761 FAX.022-375-7797  
E-mail kk-tohoku@kk-tohoku.or.jp  
URL http://www.kk-tohoku.or.jp

#### 編集後記

最近ダーウィンブームなそう。確かに日曜の夜のNHKテレビ「ダーウィンが来た、いきもの新伝説」が面白い。他のTV番組が薄っぺらいせいもあるが…。国立科学博物館ではダーウィン展「進化」発見の旅へが開催されている。ダーウィンは生存競争、適者生存などの要因によって、常に環境に適応するように種が分岐し、多様な種が生じると説明した。ある雑誌で「地球温暖化は年齢46億年の地球にとって些細な出来事で地球の進化過程だ」とする学者がいた。地球温暖化防止が先決で、地球温暖化に適応できる時期に人類はない。(典)



## THE TOHOKU CHAMBER OF ENVIRONMENT 環境会議所東北会報

2008.7  
No.22

#### 今月のメニュー

- 2008年は環境元年になれるか
- 平成20年度総会開催
- お知らせ  
エコプロダクツ東北2008
- 環境会議所東北会員紹介
- 協業組合アクアネット
- (有)千字文芸
- (株)クリーンシステム
- みちのくEMS
- みやぎグリーン購入ネットワーク
- 新入会員紹介
- 編集後記

### 2008年は環境元年になれるか

代表理事 猪股 宏



温暖化防止の京都議定書での行動開始の年2008年、環境元年を迎えました。

ミャンマーでのモンスーン被害、四川省巨大地震そして、岩手・宮城内陸地震など自然災害や地球温暖化に伴う地球規模の異変が連日報道されています。被害を受けられました皆さまに衷心よりお見舞い申し上げます。世界のメディアは環境サミットとも呼ばれる「洞爺湖サミット」開催を控え環境関連のニュース報道に量・質を競っています。

2050年に向けての「美しい星・クールアース50計画」宣言が環境大臣会議においてなされたというニュースが報じられました。聞くと、「総論賛成、各論、自分に利害が関係するものは反対あるいは慎重論」という図式が明確となっています。今から42年先、そこまでは責任が取れるか不透明ながら賛成、直近の目標には利害が発生するので慎重論ということでしょうか。でも、それでは話が進まないわけです。

原油の高騰から来るエネルギー問題、日増しに緊迫感のある食糧危機など、行動が伴わないと手遅れになりそうです。大きな組織ほど、決定に諸々のしからみや波及効果があるので慎重にならざるを得ないでしょうから、よ

り身近なところからは非行動をしましょう。環境会議所東北も、その身近な組織でありたいと感じています。会員の皆様も同様と思えますし、そのようにお考え頂きたいと願っております。個人的には、「自分ひとりくらいの行動では、何も変わらない」「自分ひとりくらいは大丈夫だろう」というネガティブな行動に繋がるでしょうから、逆に「自分から…してみよう」となりたいと思っています。

では、何ができるか、何からやればいいのか、これが問題です。そのためには、きちんとした情報が必要でしょうし、モデルとなる事例があれば良いでしょう。環境会議所東北は、このような要求に応えるような活動を進めてきたつもりですが、なお一層、会員さらには将来の会員候補、一般の人達にも理解しやすく、自身の判断ができるような材料、ツールの提供を心がけたいと思います。

会報は、URLとともにその代表的情報源となりますが、会員の皆様にはこの点をご理解頂きまして、情報の周知の拡大ならびに収集・整理になお一層のご協力を賜りますようお願いする次第です。

### 平成20年度総会開催

平成20年度通常総会が平成20年5月10日(土)KKRホテル仙台において開催された。当会の創立10周年にあたり東北経済産業局循環型産業振興課長山家一郎氏に「Recycle to Products東北地域における循環型産業の振興」の記念講演をお願いした。今注目されている非鉄金属(レアメタル)は世界的な需要の拡大により国際価格が高騰している現状や、産出資源国が中国や南アフリカに偏在していることからわが国において非鉄金属のリサイクルの推進が必要であること。東北地域は非鉄金属のリサイクル技術・産業分野のポテンシャルが高いことから産業集積地域を回廊(コリドー)でつなぐ「TOHOKUものづくりコリドー」活動を展開している事を話された。また(財)東北工業会発行の冊子「TOHOKU非鉄金属モノづくり、モノがたり」が全員にプレゼントされた。参加者から時宜を得た意義ある講演だと好評を博した。

総会議事に移り、猪股代表理事を議長に選出した。第1号議案「第10期事業報告並びに貸借対照表および損益計算書承認・監査報告」、第2号議

案「第11期事業計画(案)並びに収支予算(案)」、第3号議案その他の件について諮ったところ、全議案は満場一致で承認された。

会場を移した交流会は山家一郎課長の乾杯で始まり座談会での歓談となった。参加者全員がユウモアあふれる自己紹介などを交えなごやかな親睦が深められた。



東北経済産業局  
山家 一郎 氏

# お知らせ エコプロダクツ東北 2008

～見て!学んで!やってみる～

出展者  
募集!



会期 平成20年10月9日(木)、10日(金)、11日(土)  
時間 午前10時～午後5時(最終日は午後4時30分)  
会場 夢メッセみやぎ  
〒983-0001 仙台市宮城野区港三丁目1番7号  
主催 NPO法人環境会議所東北  
共催 経済産業省東北経済産業局  
詳細 <http://www.e-products.jp/2008/>

## コンセプトに繋がる会場運営構成

エコプロダクツ東北2008展示イベントにおいて一般来場者をはじめ企業団体に向けて分かりやすく目的にあった知識を学習、体験しながらエコへの認識を深め新たにEco意識が生まれるエキシビジョン環境を提供する事を目的としコンセプトを主軸とした運営形態を構築していきます。

## エコプロダクツ東北2008出展申込者一覧 2008.6.24現在

### 団体名

- (株)日本環境認証機構(JACO)
- (株)エヌ・ティ・ティ・コム東北
- (株)熊谷農機
- (株)ケット科学研究所仙台営業所
- (株)アースマインド
- NPO法人オリザ・ネット
- (株)ベネッセコーポレーション
- (株)オガワエコノス
- (株)エフ・ディ・エヌ
- 日環エンジニアリング(株)
- 財団法人東北産業活性化センター
- サンポット(株)仙台営業所
- (株)プロジェクトウサミ
- 新日本石油(株)
- 三菱マテリアル(株)環境技術研究所
- イオン(株)東北カンパニー
- 発泡スチレンシート工業会・ポリスチレンペーパー成型加工工業組合
- 細倉金属鉱業(株)
- YKK AP(株)
- JFE環境(株)
- 笹氣出版印刷(株)
- シナリー(株)
- NPO日本木材資源リサイクル協会
- 大成建設(株)東北支店
- (株)サイコー
- NPO法人ザ・ピープル
- (株)エヌ・エフ・ジー
- サンナイス(株)
- 協業組合仙台湾清掃公社
- (株)遠藤店
- (有)プロジェクトヤマダ
- (株)アイシム医療器
- NPO法人 循環型社会創造ネットワーク(CROSS)
- イーモービル(株)
- 東海ビジョンマーケティング(株)
- コマツユーティリティ(株)
- 土田地質株式会社
- 日本ベル(株)
- 東北電力(株)
- (株)エフピコ
- 三井物産(株)
- (株)小松製作所

**協業組合アクアネット**  
代表理事 佐藤 政志氏

〒989-6233 宮城県大崎市古川桜ノ目字高谷地526  
TEL. 0229-28-3734

従業員96名 創立/昭和53年8月 出資金/780万円

大崎市古川。市街北部にある桜ノ目工業団地に立地するのが協業組合アクアネットだ。同組合の創立はちょうど30年前の1978年。「まだ“バブル”の時代でしたから、環境や廃棄物処理への関心は薄く、私たちも地味な活動を続けてきましたが15年ほど前から急速に社会や企業における環境対応が問われ始め、それまで蓄積した知識・技術が大きく役立つことに…」と、発足時を振り返る佐藤政志代表理事。



代表理事 佐藤 政志氏

「環境を見つめ 環境をささえ 環境を守る」を掲げる、地域密着の事業だけに「我々が専門とする上下水道はライフラインですから、日常的な維持管理にも高い信頼性と技術力が求められます」と語る佐藤代表理事。地元企業が集まり出資事業者それぞれの「いい所を集積」して設立された同組は、公的な信頼も高く、国や県、地域自治体、公共団体はもとより、多数の民間企業を取引先として、浄化槽の設置・維持管理、下水道処理施設の維持管理、給排水設備等の建築・設置工事、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬などの業務を行っており、事業分野は年々広がりがつある。「環境政策は規制強化の流れがあり、基準や技術レベルも年々変わっています。そこで職員の新たな資格取得やより高度な資格取得など、人材育成を重要なポイントとして取り組んでいます」。

近年では上水の水質管理に取り組むようになった。上水道は自治体の管理で運営されてきたが、改革の流れを受けて民間委託が始まっている。アクアネットでは、管理基準の厳しさや飲料水だけに味の問題などもあり、まだ事業比率は低いものの「今後、重点的に取り組みたい分野」なのだ。

また、同組合は最近“みちのくEMS”を認証取得。「とにかく事務局は大変でした(笑)。しかし考えていたよりずっと少ない費用で済み、何より職員の環境や品質への意識がすごく高まりましたね」と佐藤代表理事。東北大学など学術分野への人脈も広がり、「驚くようなヒントがもらえる機会も多い」とその効果を語る佐藤代表理事。

建設業界などから環境分野に参入する企業も増加しており、原材料の高騰など社会経済的な不安要素もあるが、「仙台圏や東京の大手とも協力関係を築きながら技術レベルで差別化を図って行きたいですね」——協業組合というスタイルで、その名の通り水を中心とした環境づくりに貢献するアクアネットのこれからの活躍が期待されている。



浄水場施設

**有限会社千字文工芸 SENJIMON**  
代表取締役 草賀 哲夫氏

〒981-3203 宮城県仙台市泉区高森4-2-43  
TEL. 022-378-6086

従業員6名 創立/昭和49年5月 資本金/500万円

「千字文」という言葉にピンとくる人は習字をやった方々だろう。もともと中国・六朝時代の書物のことで、四言二百五十句が習字のお手本となっている。「草賀工芸でよかったのですが、何かこだわった社名にしたいと…若かったんですね」と設立当時を思い出して笑う草賀社長。



代表取締役 草賀 哲夫氏

設立は泉区七北田だが、泉パークタウン開発開始から5年後に現在地に移転。以来30年、「パークタウン内の看板の多くを手掛けさせていただきました」という。「小さな看板屋ですから、営業に歩くというより出来上がったものを見ていただき、人づてで仕事が広がった感じです」というが、現在は、東北はもとより首都圏などからも多くの引き合いがあり、専務であるご長男の草賀大(まさる)氏は日々各地を飛び回る忙しさだ。

「サインボードの一番のポイントは、それが企業なりお店なりの“顔”となること。独創性がないと続けられません。私の時代は出来たものを見ていただいて任せてもらいましたが、今はデザインをご提案し、より具体的な形でないと…この業界もパソコンが浸透して仕事の進め方が大きく変わりました。私は(PCが)苦手なのでアドバイス役、プレゼンテーションなどは息子に任せています」と草賀社長。

サインボードは企業やお店の繁栄を担うため、常に真剣勝負だ。立地、商品やサービスの特性、顧客層など…求められる独創性を探り、パソコン上にデザインとして組み上げる。オーナーの希望や好みも反映させなければならぬ。だからこそ、もともと建築バースが専門だった大氏の三次元的な視覚センスが生かされているのだ。

そのような中、大きなニュースが飛び込んだ。大氏が手掛けた手づくりハンバーグ店の看板(写真)が“せんだいデザインウィーク2007<街中プロジェクト・街中グッドデザイン展>”の「サイン賞」を受賞したのだ。「このコンクールに応募しようと思って手掛けた仕事ではなく、審査員の目に留まり受賞できたということが嬉しかった」と大氏。

「“エコ”という意味からいえば、サインボードは1点製作のため素材まで戻さないとリサイクルできず、課題も多いのですが、東北の中心都市・仙台で仕事をしているのですから、都市景観や都市環境という意味ではサインボードは大きな役割を持っていると考えています」。

環境時代にふさわしい都市景観をめざし、千字文工芸の新たな挑戦が始まっている。



せんだいデザインウィーク2007「サイン賞」に輝いた作品

**株式会社クリーンシステム**  
代表取締役社長 鈴木 隆氏

〒990-0845 山形市飯塚町字中河原1629-5  
TEL.023-644-2228

従業員107名 設立/平成3年 資本金/2億円

当社は山形市西部に立地する廃棄物総合中間処理業者で、日頃の皆様のご愛顧により今年で創立17年目を迎えております。営業内容といたしましてはRPF、原燃料用等木質チップ、再生骨材の各種リサイクル製品製造及び混合廃棄物分別、並びに解体工事などを主軸としております。



代表取締役社長 鈴木 隆氏

環境に対する負荷を限りなく少なくし、持続可能な発展を図ることは、現代を生きる企業にとっても大きな課題です。当社では独自の以下4つの企業フィロソフィーに基づいて、現実的行動で応え、その実績を積み重ねております。

- 1) ゼロエミッション社会の実現  
廃棄物の最終処分量を限りなくゼロに近づける、「ゼロエミッション社会の実現」という目的に向かって全力で取り組んでおります。そして、ゼロエミッションコンセプトの一般社会への普及啓発に努めて参ります。
- 2) 徹底した研究開発で効率的なリサイクルシステムの確立  
私たちは長年培った技術とサービスのノウハウ開発など、リサイクルシステムの「創造」を続けております。
- 3) お客さまに密着した提案型カンパニーの実践  
廃棄物を処理するという対外的なサービスだけではなく、排出前の段階からプランニング、「廃棄物の100%再資源化」を目指した再資源化を提案しております。
- 4) 市場における再生品の普及を推進  
マーケティングを重視し、需要と供給のバランスをとりながら、再生資源利用途の開発を進め、再生品の普及を活発に展開しております。しかも再生品を厳しい品質管理体制によって、市場と消費者のニーズに応じております。

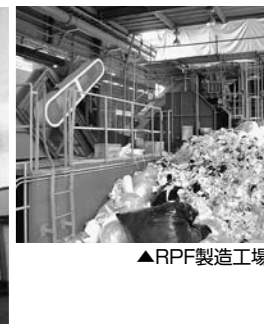
そのほか、当社では山形再生骨材協同組合とNPO日本木材資源リサイクル協会の事務局を設置し、各種情報の発信地として機能させ、業界情報をいち早く捉えることを可能としております。

昨今においては皆様もご承知のとおり、廃棄物処理業界は猛烈な勢いで日々変化を続けております。また、環境問題に端を発する社会的世論は、巨大企業の環境的取組みを余儀なくされておりますが、それら大手の参画は、地元東北一円においてもわれわれリサイクル業界に革命的な影響を与えているようです。

今後の業界の必須課題としては、混乱の渦中「争う」のではなく、同業者間における協調をとり、連携を求め、刻々と変化する状況において一業界として対話していく姿勢が必要ではないかと私たちは考えております。未来多岐半面、様々な問題を抱える大変な市場ではございますが、今後とも皆様のご愛顧とご支援のほどよろしくお願いしたいと存じております。



▲RPF製造工場



◀クリーンシステム社屋